

令和2年度決算がまとまりました

納付金が激増し厳しさを増す健保財政 今後はさらに厳しく

令和2年度決算案などを審議するCNCグループ健康保険組合の組合会が7月27日（火）に開催され、収入支出決算案などの議案が全会一致で承認されました。

一般勘定の収入総額は8億8569万7千円、支出総額は6億6562万7千円、収入支出差引額で2億2007万円の残金を計上することができました。しかし、単年度の財政状況を示す経常収支では、経常収入合計は6億3367万5千円、経常支出合計は6億5342万3千円、経常収支差引額は1974万8千円の赤字になりました。

これは、納付金のうち前期高齢者納付金が、平成30年度には過去分の概算納付額と確定納付額の精算により大幅な減額・返還となりましたが、その反動もあつて令和元年度には前年度に比べ5334万3千円増加し、本年度にはさらに1億2692万3千円も増加したことによります。このため、コロナ禍での受診控えもあり保険給付費はやや減少したにもかかわらず、財政状況は一気に悪化してしまいました。

また今後は、団塊の世代が後期高齢者になり始め、納付金がさらに増加することが見込まれており、健康保険組合を取り巻く財政環境はいっそう厳しさを増すものと予測されています。

令和2年度 一般勘定

収入

保険料率は前年と同率の1000分の88で、保険料収入は前年度から675万円増の6億3259万円、調整保険料収入1208万7千円、準備金からの繰入金2億円、納付金

に対する国庫補助金3853万円、財政調整事業交付金140万5千円、その他の収入を含めた収入総額は8億8569万7千円と、前年度から1億7437万8千円の増加となりました。

令和2年度収入支出決算の概要

一般勘定

決算基礎

被保険者数 2,168人 平均年齢 29.31歳
平均標準報酬月額 263,519円 保険料率 88/1000

収入		科目	決算額(千円)
健康保険収入	保険料	632,590	
	国庫負担金	249	
調整保険料収入	12,087		
繰入金	200,000		
国庫補助金	38,530		
財政調整事業交付金	1,405		
雑収入	836		

支出		科目	決算額(千円)
事務	費	20,868	
保険給付費	法定給付費	本人	173,834
		家族	84,971
		高齢者	332
		高額療養費	18,361
納付金	前期高齢者納付金	180,275	
	後期高齢者支援金	148,466	
	病床転換支援金	1	
	退職者給付拠出金	6	
保健事業費	特定健康診査事業費	4,356	
	特定保健指導事業費	89	
	保健指導宣伝費	5,467	
	疾病予防費	15,670	
営繕	費	117	
財政調整事業	拠出金	12,087	
連合会	費	727	
合計		665,627	

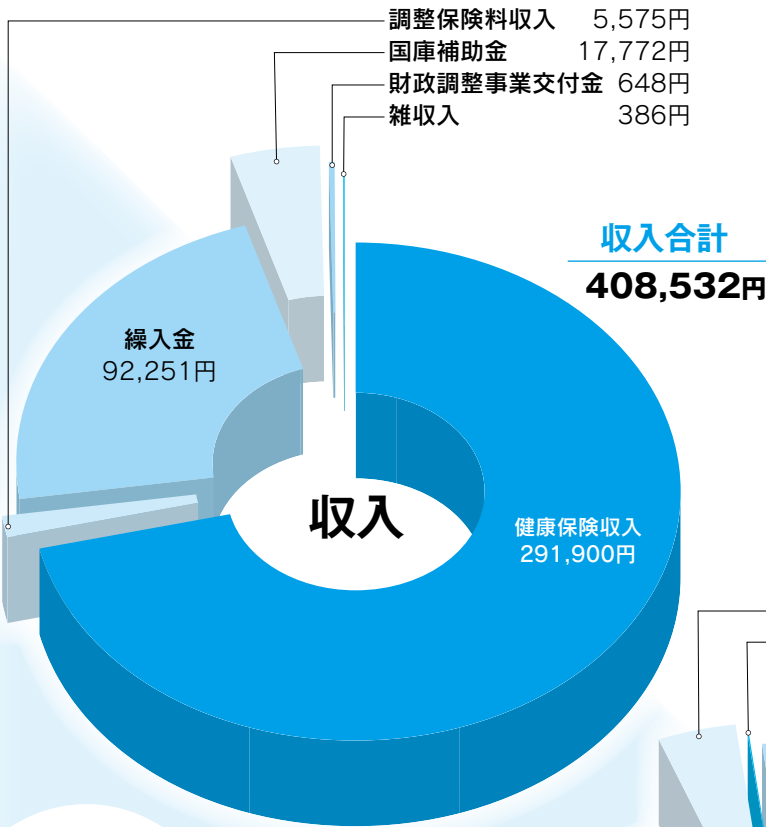
合計 885,697



● 支出

事務費2086万8千円、保険給付費（法定給付費）全体で2億7749万8千円、高齢者医療制度にかかわる納付金等が3億2874万8千円、保健事業費は特定健康診査事業費（特定健診・特定保健指導）444万5千円、保健指導宣伝費546万7千円、疾病予防費1567万円を計上、保健事業費全体で2558万2千円、

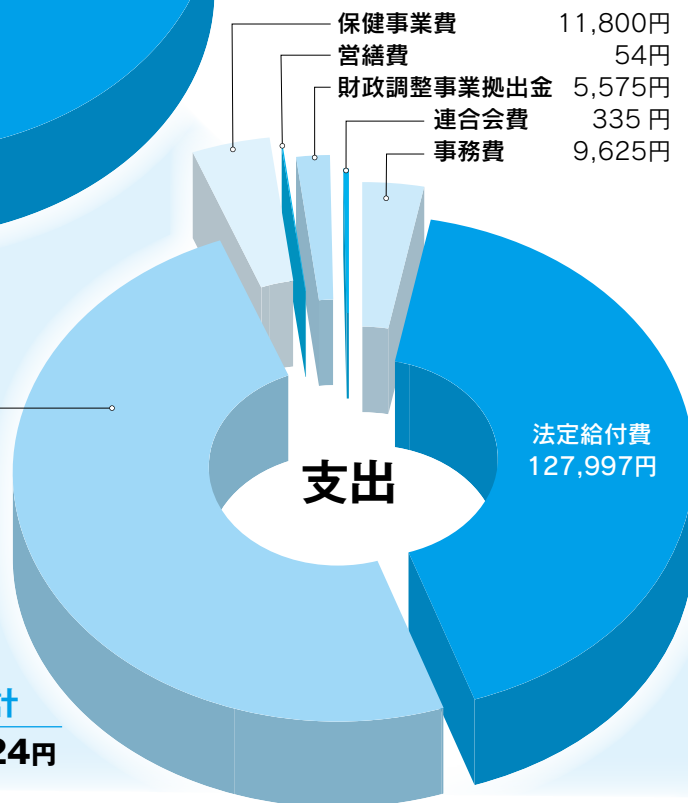
その他の支出を含めた支出総額は6億6562万7千円と、前年度から1億432万7千円の増加となりました。



被保険者1人当たり収支



納付金 151,637円
 前期高齢者納付金 83,153円
 後期高齢者支援金 68,481円
 退職者給付拠出金 3円



令和2年度収入支出決算の概要

介護勘定

決算基礎 ■ 第2号被保険者数 ■ 平均標準報酬月額 315,100円
 本人 151人 家族 49人 ■ 介護保険料率 20/1000

収入	科目	決算額(千円)	1人当たり額(円)
	介護保険収入	12,779	84,629
繰入金	2,000	13,245	
合計	14,779	97,874	
支出	介護納付金	12,204	80,821
	合計	12,204	80,821

介護勘定
 保険料率は前年と同率の1000分の20で、介護保険収入は1277万9千円、準備金からの繰入金200万円、一方、支出は介護納付金が前年度から206万4千円減の1220万4千円となりました。介護勘定の収入支出差引額は257万5千円となっています。

介護勘定